



ロータリーは機会の扉を開く  
Rotary Opens Opportunities

2020-2021

第8回例会

RIテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Open Opportunities

クラブテーマ

原点から未来へ Get Back To the Future

会報

No. 1123

豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：角谷 歩、副会長：西 崇秀、幹事：木所 壮太、出席・会報委員長：鈴木 康代

令和2年9月9日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA 担当：理事会

ロータリーソング「我らの生業」/「四つのテスト」：白井 康仁 さん

ゲスト  
ガバナー補佐 高須 博久 氏<豊橋RC>/地区副幹事 朝倉 淳一 氏 <名古屋北RC>  
分区幹事 佐藤 裕彦 氏<豊橋RC>/分区 副幹事 柳原 茂 氏 <豊橋RC>  
米山奨学生 ベック・ジェヒョン (白 宰鉉) さん

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	8月26日修正出席率	ビジター
53名	48名	5名	12名	75.00%	100%	1名

会長挨拶

角谷 歩 会長

本日は「ガバナー補佐訪問」という大変大事な例会です。高須ガバナー補佐をはじめ、朝倉地区副幹事、佐藤分区幹事、柳原分区副幹事の皆様、ようこそ当クラブにおいで下さいました。本当にありがとうございます。本年度は新型コロナウイルス禍により、PETS や地区研修・協議会など地区とクラブをつなぐ大事な会合が次々に中止に追い込まれ、ビデオやネット配信を通じてカバーはしているものの、生(ナマ)で地区の考え方をお聞きできる機会は大変貴重です。高須ガバナー補佐のお話をよくお聞きして、私たちの活動に活かしていきましょう。

本日のプログラム

『ガバナー補佐訪問』

東三河分区ガバナー補佐 高須 博久 氏

ガバナー補佐の役目は、各クラブの皆様が思いっきり活動出来るよう地区は応援していると伝える事です。そしてガバナー公式訪問を前に各クラブの状況を確認する事です。まず伝えたい事は、RI 会長のテーマと岡部ガバナーの方針を理解してもらおう事です。テーマは『ロータリーは機会の扉を開く』ですが奉仕の機会と受け止めてください。またポリオの根絶から撲滅へとより強いメッセージが発信されています。世間からも活動が認知されこの様な時だからこそより強くしたいと言われそのためには若い方の入会を入れようと言われていきます。ローターアクターに注目し一緒になった連携した事業を行うことを求めています。10月10日に予定しております。また、インターアクトの卒業生にはローターアクトへ入会を勧め行動力のある若い力を融合させましょう。東クラブはしっかりした戦略会議を行っているので3つの扉を開け行動し続けるロータリアンであってくださ



い。RIの6つの重点分野を取り入れた財団の補助金もうまく活用してください。ロータリーは今年100年を迎え、皆さまにも活発に活動して頂きたかったのですが、コロナ過では難しくなっております。それでもロータリーは活動を止めてはいけません。岡部ガバナーも大切と言っている事は各クラブの活動が活発に行われる事です。地区としても応援しますし、ご意見は報告書に書きますので是非おしゃってください。そして進化するため前に進んでいきたいと思えます。最後になりますが、例年とは違いセントレアで行われる地区大会の登録とローターアクトとの共同事業に手を挙げてください。そして財団への寄付をお願いします。2月27日のインターシティミーティングも色んな工夫をして開催に向けていきますので登録をお願いします。



ガバナー補佐他ゲストと会長・幹事

3分間スピーチ

満田 稔 さん

コロナウイルスに脅かされ、私たちは今までに体験したことのない事態に直面し緊張が続いております。学校は2か月以上生徒の姿がなく、まるで廃墟の様でした。ふと75年前の事を思い出しました。校舎は灰燼と帰し、生徒37名と職員1名を失い、満身創痍で終戦を迎え、2度と戦争を起こしてはいけぬ、平和な心を強く持つ生徒を育成しようと決意し、十字架を掲げた校舎の再建、平和のシンボルの鳩をデザインとした校章の作成、校歌は平和な心を持つ生徒が育つよう作成、平和の塔を建てました。今、桜丘の生徒たちは文化祭の準備で大変です。今年の生徒にしかできない文化祭を経て学校を一つにして頑張ります。10月4日に開催されますので皆様に足を運んで頂けたらと思います。



原稿：三輪 真大 さん / 写真：新本 康欽 さん